

「県産材利用部門」

児童発達支援センター あはは

- ▶特徴：施設は、木造2階建てで、延べ床面積 600 m²の2×4工法である。
- 特徴としては、外観は一見して木造には見えない作りでありながら、児童発達支援センターという役割から、内装には、全室、腰壁に杉板を使うなど、木質空間としての創出を図っている。
- 当初はS構造の計画だったが、基礎を含めた全体の施行経費や施工期間などを総合的に判断し、2×4工法を採用した。当施設は、児童発達支援で親子で学ぶ施設であり、親子が安心してくつろげる空間と非常に利用者からも好評を得ている。

